

ご挨拶

鳥取県立米子高等学校ホームページにアクセスしていただき、誠にありがとうございます。令和7年4月に校長として着任した永江 靖幸（ながえ やすゆき）です。よろしくお願いいたします。

本校は昭和48年、鳥取県立法勝寺高等学校と米子市立米子高等学校が統合して、秀峰大山を仰ぎ見る緑豊かな米子市橋本に開校しました。その産声から節目となる創立50周年の記念式典を令和4年11月8日に米子コンベンションセンターにおいて挙行了ことは記憶に新しいところです。その式典に合わせて、本校生徒のデザインによってマスコットキャラクターを誕生させました。「イロツトリ」「創（はじめ）」「協（かな）」です。その出来栄は本校の美術教育の高さを伺わせてくれます。



創（はじめ）



イロツトリ



協（かな）

また、平成10年に県内初の総合学科としてスタートし、『夢を描こう「自分色」の』をキャッチフレーズに多様な生徒のニーズに応え、多様な進路に対応することを教育の大きな柱にしています。

令和7年4月9日、148名の新入生を迎えました。昨年の入学生から従来の系列を「文理探究」、「グローバル・スタディーズ」、「ビジネスプランニング」、「保育・福祉」、「スポーツ＆ライフ」、「総合芸術」と一新しました。大学進学の実、語学教育の推進、就労意識の向上、保育士・小学校教員などの養成、音楽を含めた芸術分野への進路指導拡充など、時代の変化とニーズにあわせた教育内容を追及しているところです。

さて、今年度は全国高等学校総合体育大会「開け未来の扉 中国総体2025」が7月下旬より本県でも開催され、西部地区はウエイトリフティング、弓道が会場となっています。選手として、役員として、ボランティアとして活躍してくれるものと期待しています。

また、11月には第45回近畿高等学校総合文化祭鳥取大会が行われるのですが、その生徒実行委員長は本校生徒が担います。加えて大会ポスターも本校生徒作品です。大会は全県で行われますが、多くの展示部門が、新しく3月にオープンした県立美術館で行われるとあって、今から開催が待ち遠しいところです。

“地域の歩みが本校の歩み” 地域・家庭との連携を図りながら『地域に信頼され、魅力ある学校、地域とともにある学校』となるよう努めて参ります。今後とも皆様方の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。

令和7年4月

鳥取県立米子高等学校長 永江 靖幸